

新幹線プレス

2019年9月27日 No.444

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

新人事賃金制度見直し 御用組合の早期妥結を許すな！ 専任社員が貰っている高年齢雇用継続給付金が0円に？

現在専任社員には、60才退職時に比べて賃金が75%未満に低下したときに高年齢雇用継続給付金が支給されています。しかし今回の新幹線FREX定期券導入によって「0円」になる可能性があります。以下の例をもとに検証してみました。

支給項目	
■支給/当月	
基本給	195,800
調整手当	
扶養手当	
通勤手当	2,000
支給額計	268,393

【左図は現在、新幹線モニター制度で通勤している専任社員の給料明細の一部です。通勤手当(2,000円)は、自転車等で通勤する場合の5km未満の支給額です。また、下図は高年齢雇用継続給付支給決定通知書です。】

高年齢雇用継続給付支給決定通知書 (被保険者通知用)

被保険者番号	氏名	性別	生年月日	受給資格確認年月日
××××	×××	男	××××	××××
賃金月額	472,500	賃金月額の75% (支給限度額)	354,375	

高年齢雇用継続基本給付金を以下のとおり支給決定しましたので口座に振り込みします

支給対象月	賃金支払額	支給金額
○年○月	○○○○○○○円	○○○○○○○円
○年○月	268,393円	40,258円
	合計金額	○○○○○○○円

現在は上記のように高年齢雇用継続給付金が支給されています。しかし今後は給与明細の通勤手当に新幹線FREXの3ヶ月定期代が加算された額が記載されます。例えば「東京～三島」だと3ヶ月に1回262,820円が記載されます。

そうすると1ヶ月当たりの通勤手当は87,606円相当となり、給付金の計算では各月の賃金額に加算となり、その結果、賃金支払額は355,999円となってしまい、高年齢雇用継続給付金の支給限度額(354,375円)を超えてしまうため支給金額は「0円」になります。月4万円が0円になるのは死活問題です。

私たちJR東海労は、この問題を具体的に明らかにすることを会社に求めると共に、社員それぞれがメリット、デメリットを考えてFREXと現行モニター制度を選択できるようにすることを要求しています。

ユニオン組合員の皆さんも共に声を上げましょう！